

トランスブート株式会社

滋賀県大津市

はばたく中小企業・小規模事業者300社

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

ガスの使用量もわかるスマートメーター BCP機能を有する蓄電池HEMS

エネルギー・マネジメント・システム(EMS)を中心に製品・サービスの受託開発、開発請負をおこなっており、提案から、開発、試作、量産、評価まで、ものづくり全般の業務をワンストップで提供している。

現在は、EMSで培った技術・ノウハウを持って、マンション(MEMS)やビル・商業施設(BEMS)にも視野を広げ、環境・エネルギーに関わる製品の開発・販売を通じてスマートなエネルギー社会への促進に貢献できるよう努めている。

- | | | | |
|----------|---|--------|---------|
| ● 所在地 | 滋賀県大津市瀬田大江町横谷1番5 | ● 設立 | 2009年 |
| ● 電話/FAX | 077-547-5755/077-547-5735 | ● 資本金 | 1,000万円 |
| ● URL | https://www.tranceboot.com/ | ● 従業員数 | 6人 |
| ● 代表者 | 代表取締役 田中 允也 | | |



電気・ガス・水道の使用量取得できるスマートメーターの開発

現状のスマートメーターは、電力の情報は遠隔取得できるが、水道やガス等の他の情報は取得できない。通信機能を有したメーターであるのに、せっかくの通信インフラを活用できていないが、同社はスマートメーターを活用して、ガス、水道の使用量も遠隔で取得できるように独自開発している。

同社の製品のメリットとして大きな特徴として設置時から「無停電工事」が可能であり、工事の簡素化による費用の削減や、アーク災害の防止にも寄与している。



独自開発スマートメータ

BCP機能を有する蓄電池を活用したHEMSの販売

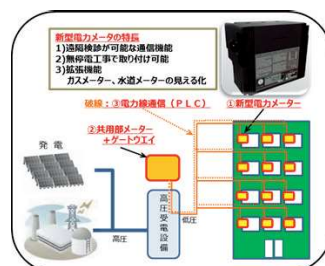
東日本大震災以降、逼迫した電力需要が社会問題となっているが、昼間のピーク電力を抑える方法として、夜間の余っている電力を蓄電池にためておき、昼間に利用する方法が有効である。蓄電池は、一方で、災害時電源としても活用できる。同社製品「スマートリアスHEMS制御盤」は、停電時には自動で蓄電池の電気に切り替えることができる。その操作性の良さから、地方の小学校体育館や、お寺の集会所等に、太陽光発電や蓄電池と連携したBCP対策として導入されている。



スマートメータのモニター画面

第三者設置(私設メーター)用の安価なスマートメーター開発

日本国内に設置されている電力量計は約8,000万台あり、電力会社の設置台数は約7,400万台、同社がターゲットとしているビル・マンション向けの電力量計は、差分の約600万台の市場規模である。大手企業が販売している電力量計は電力会社をターゲットとして取り組んでいるため、電力会社向けではない第三者設置向け(私設メーター)に一般販売されている電力量計はコストが高くなってしまっている。同社は、ローコストの製品(通信機能を有したスマートメーター)を提供できることを目標として製品開発を行っている。



新型電力メーター